

出資型新事業創出支援プログラム（SUCCESS）における ロボティック・バイオロジー・インスティテュート株式会社 への出資実行について

JST（理事長 濱口 道成）は、出資型新事業創出支援プログラム（SUCCESS）において、ロボティック・バイオロジー・インスティテュート株式会社（本社：東京都、代表取締役 高木 英二、以下「RBI社」という）からの第三者割当増資^{注1}の引き受けを実施致しました。

RBI社は、JSTの平成16年度 先端計測分析技術・機器開発事業において「超高感度質量分析のためのサンプル前処理・導入システムの開発」（チームリーダー：夏目徹（産業技術総合研究所 研究チーム長））として採択され、その研究開発成果をさらに発展させ、平成27年6月に代表取締役 高木 英二らが設立したベンチャー企業です。

ライフサイエンス分野における実験は、研究者の手技により同じ実験でも結果がばらつくことが多く、実験の再現性が必ずしも高くありません。また、実験の手技の獲得に時間がかかるのが課題でした。RBI社では、ライフサイエンス分野の熟練した研究者の手技をロボットで正確に再現するための要素作業パッケージと、プロトコル（作業手順）をロボットに簡易に構築できるエディタを開発しています。これらをロボットと実験に必要な機器類を組み込んだロボットセルとして提供することにより、ライフサイエンス分野における実験の結果のバラツキを抑え再現性を高める事ができ、研究機関や製薬企業での開発を効率よく進める事が出来るようになります。

SUCCESSでは今後も、JSTの研究開発成果を実用化しようとするイノベーター的なベンチャー企業に対して、成長資金の供給や関係機関のネットワークを活用したサポートを提供することにより、実用化を通じた先端技術の社会への還元を進めていきます。（ホームページURL：<http://www.jst.go.jp/entre/>）

〈SUCCESS事業概要〉

平成26年4月より、JSTでは「出資型新事業創出支援プログラム」（略称：SUCCESS Support Program of Capital Contribution to Early-Stage Companies）を開始しました。本事業は、JSTの研究開発成果の実用化を目指すベンチャー企業に対しJSTが出資並びに人的及び技術的援助を行うことでその創出及び成長を促進し、当該ベンチャー企業が行う事業活動を通じてJSTの研究開発成果の実用化・社会還元を促進することを目的とした事業です。出資を通じてJSTがベンチャー企業の株主になることで、民間の資金を誘引する「呼び水効果」を狙っています。

ホームページURL：<http://www.jst.go.jp/entre/>

<企業概要>

企業名	ロボティック・バイオロジー・インスティテュート株式会社
設立日	平成 27 年 6 月 22 日
本社所在地	東京都江東区
代表取締役	高木 英二
事業内容	バイオメディカル作業及びライフサイエンス作業を行うロボット施設の運営 ロボット及びロボット周辺機器の開発・販売・保守 バイオメディカル作業及びライフサイエンス作業に関するデータと知的財産の管理及び利活用

<用語解説>

注 1) 第三者割当増資

特定の第三者に新株引受権(新株の割当を受ける権利)を与えて行う増資のこと。会社の資金調達の方法の一つで、会社の自己資本を充実させ、財務内容を強化することができる。

<お問い合わせ先>

ロボティック・バイオロジー・インスティテュート株式会社

〒135-0064 東京都江東区青海 2-4-7 産総研臨海副都心センター別館 6階
担当：高木

Tel：03-6380-7100 Fax：03-6380-7120

E-mail：eiji.takagi@robo-bio.com

<SUCCESS事業に関すること>

科学技術振興機構 起業支援室

〒102-0076 東京都千代田区五番町 7 K's 五番町

Tel：03-6380-9014 Fax：03-5214-0017

E-mail：entre@jst.go.jp